



ジュボラ参加者

鈴木 ちか 千香さん (15)

中学3年生。友人の誘いがきっかけでジュボラに参加。被災地のために今後、何か役に立ちたいと思っている。

▶▶ 晴れの舞台に立ち会える喜びと感動を体験

友人から誘われてジュボラに中1のころから参加しています。メンバーのみんなは優しく、仲が良いのでとても居心地がいいです。一番印象的なのは成人式の受け付けをした時です。成人となった皆さんの晴れの舞台に立ち会えること、目の前で再会の喜びを分かち合っている姿を見ることができ、とても感動します。また、小学生の子どもたちと触れ合う機会が多く、以前より、もっと子どもたちが大好きになりました。今後もジュボラを続けていきたいです。



参加して一番楽しかったイベントは子どもフェスティバルのボランティアです。わたがしを作って、腕にわたがしが絡んでべとべとになってしまったのはいい思い出です。メンバーみんなが優しく、年齢に関係なく仲が良いので、家族のような存在です。学校の修学旅行では大人が計画を立てたものに合わせて行動しますが、ジュボラでは自分たちで計画を立て、誰がどういったことをするのか決めていきます。こうした貴重な経験が今の自分の糧となっています。

▶▶ ジュボラのメンバーは家族のような存在です

ジュボラの交流会で同じ年以外の人と触れ合える ◀◀

ジュボラのいいところ。それは年齢を超えた交流ができることです。もし、ジュボラに参加していなければずっと同じ学校、同じ学年の友達しかできなかったと思います。ジュボラに参加してから、新しい出会いがありました。ほかの中学校に通う



友達ができたり、小学生や高校生のお兄さん、お姉さんと仲良くなることができました。たくさんの人と出会うジュボラ交流会が私の大好きなイベントです。ジュボラがある週末は本当に楽しいです！

もし、ジュボラに参加していなければ知らない学校の人と仲良くなることはなかったはずです。町中に友達がいること。これは小さな町、三芳町ならではのことで、ほかの市から通う高校生の時の友達と話していて実感しました。ジュボラに参加したことで、自分よりも小さな子どもたちと触れ合うことができました。その結果、子どもの目線で話すことや、接し方を学ぶことができました。新しい出会いがたくさんあるジュボラ。楽しかったです。

幅広い年代の人との接し方を学ぶことができた ◀◀



ジュボラ参加者

吉田 しおり 汐織さん (15)

友人の誘いがきっかけでジュボラに参加。走ることとパソコンが大好きな中学3年生。

元ジュボラ・現青少年相談員

伊澤 なな 菜那さん (18)

中学3年生からジュボラに参加。4月からは専門学校生となりジュボラを卒業。今後は青少年相談員として活動。



平成 25 年度の年間活動



地域で小さいころからボランティアを体験
町内に在住している中・高校生を対象とした地域ボランティアグループ、それが「ジュニアボランティアリーダー」(通称ジュボラ)です。小学生向けイベントキャンペーンや成人式への協力、年数回行われる研修会を通じて、一人ひとりの協働性やリーダーシップを高めることを目的として活動しています。

現在約60人が活動中
現在約60人の中・高校生が在籍しています。それぞれ学校行事や部活動と並行しながら週末の活動に取り組んでいます。子どもフェスティバルではわたがしコーナーや着ぐるみ係として、ドッジボール大会では進行・運営に、成人式では受け付けのお手伝いをします。

また、夏休みの期間はキャンプや救急救命講座、小学生と体験活動をする夏休み探検隊、青少年相談員・子ども会育成会主催の小学生対象キャンプに協力するなど、異なる年齢の人たちと中・高校生活6年間継続して活動できることがジュボラの特徴です。■